

THE GOONIES™

スピルバーグ
アドベンチャーは
夢と驚きのスペクタクル!
莫大な財宝の謎を追って

いま《86年=冒険時代》の幕があく!!

スチーブン・スピルバーグ 提供

グーニーズ

リチャード・ドナー 作品

"THE GOONIES" 原作スチーブン・スピルバーグ/脚本クリス・コロムバス/音楽テーブ・クルーシン/製作総指揮スチーブン・スピルバーグ●フランク・マーシャル●キャスリーン・ケネディ
製作リチャード・ドナー&ハーベイ・バーンハート/監督リチャード・ドナー●原作/角川文庫所 DOLBY STEREO AMBLIN オリジナル・サウトラボ/エピック・ソニーレコード

ワーナー・ブライダル・スチーブン・スピルバーグ
A WARNER COMMUNICATIONS COMPANY



面白いことなんてナーンもない。

ここはアストリアというもののうげな港町。雨のそぼ降る窓へにたたずんで、13才のマイキーはためいきをついた。けれどもやがて彼は、世の中に対するそんな感想がまちがっていたことを否応なしに知ることになる。マイキーと、北西部のこの小さな町の仲間たちは、スチーブン・スピルバーグとリチャード・ドナーという現代の魔法使いの手によって、心臓がドキドキ鳴りっぱなしの大冒険へと出発することになるのだ。

「グーニーズ」は、まったくもう、驚きとお楽しみ満載のノン・ストップ・ジェット・コースターだ！さっきまで白い布にすぎなかったスクリーンを見つめているだけで、脳天がブッ飛ぶような興奮に息つくひまもなくなる。あーあ、つまんねえの、なんてしまよくほくるて子供たちは全員集合！そしてもちろん子供に年令制限はない。大きな子供たちも大歓迎。なぜって、これを創ったスピルバーグとリチャード・ドナーのふたりが、そもそも子供なのだ。

この映画の、製作総指揮をとっているスチーブン・スピルバーグは、いわずと知れたスーパー・フィルムメーカー。「E.T.」「ジョーズ」「未知との遭遇」「レイダース」……といった映画史に残るヒットをたてつづけにカッ飛びし、84年には「インディ・ジョーンズ」の監督、「グレムリン」の製作総指揮と、ますます油がのってきている。一方、監督のリチャード・ドナーも「スーパー・マン」「オーメン」、最近では「レディ・ホーク」といった大作を手がけているばかりでなく、「サンフランシスコ物語」「おもちゃがくれた愛」といった心温まる佳作を世に送ってきた名人級の娯楽映画作家である。

「ぼくは子供の時からスピルバーグの大ファンだったんだ。52才のドナーが37才の後輩の肩にもたれて笑うと、スピルバーグの方ではこんなふうに受ける、

「ディック・ドナーは図体ばかりでっかい困った子供だよ。絶対に成長しない。ピーターパンを地でいってるのさ。今回も主演の子供たちと話の通じることといったら……『グーニーズ』の仲間の中じゃ、彼がいっとう幼いんだ。」

「グーニーズ」は、永年にわたって崇拜しあってきたこのふたりのヒット・メーカーがついに出会って創造した夢の映画なのだ。

競争率300倍を突破した7人

スピルバーグとドナーは、何百時間もかけ何千人という子供たちの中から、現代のトムやハック、ベッキー・サッチャーを選びだした。ドナーに彼らみんなを愛している、といわしめた魅力的な若い主演俳優たちは……まず、グループのリーダー格マイキーに扮するのはショーン・アスティン。14才の彼は、俳優ジョン・アスティンと「奇跡の人」の名子役だったバティ・デューエクの息子である。マイキーのハンサムでスポーツマンの兄、ブランドに扮する17才のジョッシュ・ブローリンは、やはりスターのジェイムス・ブローリンの息子。何でもおおげさにいうチャンクにはキャストの中でも最年少のジェフ・B・コーエン、すでにテレビなどでその才能を発揮しているちびっこコメディアンである。ティアリーダーでブランドのガールフレンドであるアンディには、18才のケリー・グリーン。この4人は、「グーニーズ」で輝かしい映画デビューを飾ることになった。

気のきいたせりふを連発するナウイマウスには13才のコリー・フェルドマン。「グレムリン」で映画デビューし、「13日の金曜日/完結編」を経てこれが映画3作目。テクノにめっぽう強いデータに扮するのは、「インディ・ジョーンズ」でハリソン・フォードを食べほどの活躍を見せた14才のホイ・クアン。アンディのちょっとへん人の友だち、ステッフにはやはり14才のマーサ・ブリンクトーンが扮しているが、彼女は、キース・キャラダインの娘で、母のシェリーもニューヨークの舞台に数かず立っている女優である。

GOONIES 知ってる？

オレゴン州アストリア。静かな港町だ。13才の「マイキー」ウォルシュ（ショーン・アスティン）は、太っちょでドジ=物をぶち壊す名人口ーレンス「チャンク」コーエン（ジェフ・E・コーエン）、天才的発明屋のリッキー「データ」ローバー（キ・ホイ・クアン）、スペイン語のできるカッコマン、クラーク「マウス」デュベーロ（コリー・フェルドマン）という友達と、16才になる兄の「ブランド」（ジョシュ・ブローリン）も含めて、「遊び仲間」のグループを「グーニーズ」と呼んでいる。

「グーニーズ」のたまり場はマイキーの家。ここに「グーニーズ」にとって一大問題が持ち上がった。マイキーのお父さんが事業に失敗し、家もヒルサイド・カントリー・クラブというゴルフ会社に買収されてしまったのだ。『グーニーズ』がいつものように集まってマイキーの家の屋根裏部屋で善後策？を考えていた時、壊し屋の天才チャンクが、ホコリだらけの額縁を壊してしまった。その中に入っていたのは一枚の古ぼけた地図。スペイン語で書かれた文字をマウスが判読してみると、何と宝の地図だという。しかもその地図に描かれている場所は、町はいずれの古いレストランのある岬らしい。

『グーニーズ』の面々はいきり立った。そんな物を信用して危ないマネはするなと言うブランドの制止をふりきってマイキーたちは大冒険を開始した。後を追いかけたブランドと、途中彼と出逢ったチア・ガールのアンディ（ケリー・グリーン）と彼女の友人であるステファニー（マーサ・ブリンクトーン）の3人を巻き込んで、7人の「グーニーズ」アドベンチャーが始まったのだ。



危険の連続！巨大な罠！

同じ頃、アストリアの警察では大事件が持ち上がっていった。殺人ギャング団フラテッリー家の長男フランシス（ジョー・バントリアーノ）が、母親で女親分のマ・フラテッリ（アン・ラムジー）、弟のジェイク（ロバート・デイビー）の手引きで脱獄したのだ。姿を隠したこのフラテッリー家の隠れ家が、レストランだった。

そうとは知らない「グーニーズ」の面々はその地下室に秘密の洞窟を発見し、探検を開始したのだ。彼らの前に立ちはだかったのは先づ恐いフラテッリー家と、地下室の一室に鎖でつながれて閉じ込められていた、怪物のようないわな大男「スロース」（ジョン・マツザック）だった。

だが、そんな危険も恐怖もほんの序の口、行く手には次々に仕掛けられた巨大な罠、迷路、コウモリの洞穴、恐怖のパイプ・オルガン、ウォーター・コースター、そして、古い海賊船、財宝に仕掛けられた恐い罠と、息つく間もない大冒険が待っていた――。



マイキー



ブランド



チャンク



アンディ



マウス



データ



ステファニー



マーサ・ブリンクトーン